

# まちづくり機構の構築に向けて(案)

## 概略

- 中心地活性化のため、官民連携でまちづくり機構の設立運営を目指す。
- 様々なまちづくり機能を民間で自立・自律的に自走できる仕組みを構築する。
- そのために利害調整と諸課題対応に急ぎ取り組む。

## 目標

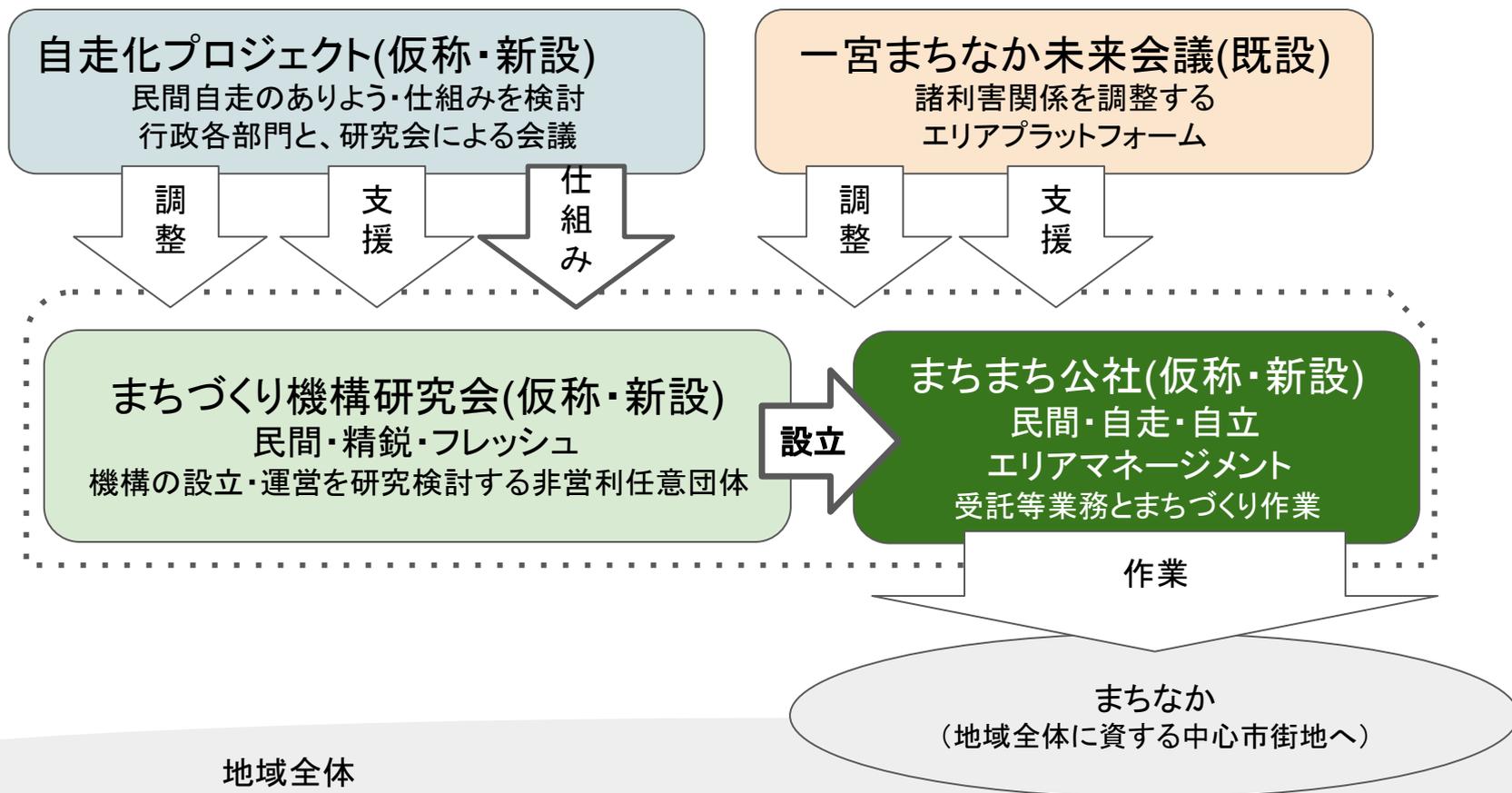
1. 中心地地域の課題解決に能動的に動く仕組み(まちづくり会社のような機構)を官民連携で構築するための準備をスタートし、2026年度の実装を目指す。そのための強固な礎を形成。
  - ・少数精鋭で若々しく自由闊達で継続的に活動する仕組みを目指す。
2. その仕組みが自走して活動するため、公共的な事業による収益力確保をはかる。
  - ・自立自律的な地域内資金循環等のありよう(地域ファンド、市民ファンド、ふるさと納税等)も併せて検討する。
3. その他、人材やスペースなどの資源獲得と配分を、情報技術や関係性を駆使し、地域全体に資する中心市街地活性化のスキムとして検討する。

# 目指したい仕組み

民間の「まちづくり機構研究会」と官民の「自走化プロジェクト」の両軸で迅速効率的なまちづくり機構の設立と安定経営を目指す。

「一宮まちなか未来会議」がそれを地域基盤として支える。

\* 名称は仮称(一宮まちなか未来会議を除く)



# コラボレーション・協創

#	名称	概要	事業等	ヒト	カネ
P	自走化プロジェクト (仮称)	まちづくり機構が民間で自走できるよう、そのありようを検討する行政各部門と、R・C担当者による会議プロジェクト	SDGs・都市OS・活性化・ウォークアブル事業・市民協働に関連、BISHU FES.の活用	行政各セクション横断プロジェクトチーム + R・Cの担当者	地域内資金循環を併せて検討
M	一宮まちなか未来会議(既設)	R・Cを支え、諸利害関係を調整するエリアプラットフォーム 円卓会議等事業活用	円卓会議・TUMUGUBA等事業活用	まちなか利害関係者	負担金
R	まちづくり機構研究会(仮称)	まちづくり機構とその設立のありようを研究する機動的非常営利任意団体	鋭	民間少数精鋭(自主活動性 先進創造性 公共社会性 実効性 即効性)	Mが研究費用負担
C	まちまち公社 (仮称)	まちづくり作業を、受託業務収益等で実施する若い世代の機動的機構、エリアマネージメント組織	民間少数精鋭	民間少数精鋭(同上)	自走 P4 参照

# 自走＝収益力【カネ】

まちづくり会社の収益事業となり得る5つの事業



- **太陽光発電オンサイトPPA事業** (もろやま創成舎) ...発電そのもの⇒難しい
- **電力販売・電力取次事業**  
(おもてなし山形、東松島みらいとし機構) ...一部(公共)施設の電力取次  
⇒ いちのみや未来エネルギー(株)より
- **ふるさと納税事業**  
(もろやま創成舎、おもてなし山形、東松島みらいとし機構) ...ふるさと納税業務の委託  
自由闊達機動的ビジネス
- **公共施設の施設管理事業** (東松島みらいとし機構) ...一部(公共)施設の運営  
⇒ まちづくり・ウォーカーブル連動場所
- **地域商社事業** (もろやま創成舎、おもてなし山形) ...マーケティング・商品開発・案内所・アンテナショップ(東京等)

**自走収益を  
地域へ還元**

★DMO(観光地域づくり法人) ...観光協会の民営化、自由闊達機動化  
(多治見DMO) ⇒地域商社・施設管理・事務委託

# スケジュール感

- 2月に活動開始、構成員検討
- 3月に会議発足
- 3～4月にプラン概要と収益性の方向性を検討
- 4月より本格稼働
- 2026年度上期に資源調整
- 2026年中に機構設立

## 補) 課題... 経緯と状況

- **まちづくり会社の喪失**

一宮でも今世紀初頭から議論された**官民連携まちづくり会社(機構)**の設置は、封印されて今日に至る。

- **駐車券管理法人の自益化**

**駐車券管理**による半公共的資金が一団体の自益へ流出し、地域へ十分に還元されていない。

- **ウォーカーブル事業の課題**

安全安心で経済循環を生む公共地のウォーカーブル事業では**過去のスキムが温存**され、時代の潮流から取り残されつつある。(一宮まちなか未来会議は任意団体として基本スペックを修正する必要がある。)

- **若いまちづくり世代の台頭**

全世界的に道路や公共空間を人間中心の空間とする動きがどんどん加速する中、当地域でもそうした都市課題に関心を持ち、具体的な活動を模索し、**まちづくりを志向する人々が若い世代**を中心に増加している。